

- 問1 1世紀から7世紀初めにかけて、古代の日本（倭）が中国の各王朝と行った外交について、出来事が起きた時期が古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。（2016年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 卑弥呼が魏から金印を授かる → 奴国の王が後漢から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される | 2. 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される | 3. 奴国の王が後漢から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される → 卑弥呼が魏から金印を授かる | 4. 小野妹子が遣隋使として派遣される → 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる |
|---|---|---|---|
- 問2 中大兄皇子（天智天皇）らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること | 2. 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること | 3. 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること | 4. 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること |
|-------------------------|---------------------------|-------------------------|-----------------------------|
- 問3 7世紀前半の推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らによって進められた国家体制の整備とともに発展した飛鳥文化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 藤原頼通によって宇治に平等院鳳凰堂が建立され、極楽往生を願う浄土信仰が貴族の間に広まった。 | 2. 奥州藤原氏が陸奥国の平泉に中尊寺金色堂を建立し、北方の地における仏教の理想郷を目指した。 | 3. 最澄によって比叡山に延暦寺が建てられ、平安京を守護する国家仏教としての役割を果たした。 | 4. 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。 |
|--|---|--|---|
- 問4 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、中国を統一した隋の高度な制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。607年にこの使節（遣隋使）として中国へ渡った人物の名前として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|---------|----------|
| 1. 足利義満 | 2. 鑑真 | 3. 小野妹子 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|-------|---------|----------|
- 問5 「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗（むね）とせよ」という言葉や、「三宝（仏・法・僧）をあつく敬え」といった条文が記された法令の目的として、最も適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 土地や人民をすべて国家のものとし、地方支配を強化するため | 2. 身分にとらわれず、才能ある人材を中央政府に登用するため | 3. 争いを避け、役人としての心得や仏教を重んじる精神を説くため | 4. 律令に基づいた裁判の基準を定め、刑罰の不平等をなくするため |
|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問6 歴史書である『日本書紀』には、ある法令の内容として「仏・法・僧の三宝を敬うこと」や「天皇の命令（詔）を承った際には必ず慎んで従うべきであること」といった、政治に携わる者の心得が記されています。聖徳太子が定めたこの法令の名称として正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 憲法十七条 | 2. 武家諸法度 | 3. 大宝律令 | 4. 冠位十二階 |
|----------|----------|---------|----------|
- 問7 7世紀後半、朝鮮半島での「白村江の戦い」に敗れた倭（日本）の政権が、唐や新羅の侵攻に備えて九州の大宰府付近に設置した、巨大な土塁と水を満たした堀からなる防衛施設の名称を選びなさい。（2019年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 防人 | 2. 防塁 | 3. 水城 | 4. 環濠 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 6世紀末から7世紀前半にかけて、推古天皇の摂政であった聖徳太子や大臣の蘇我氏らが中心となって発展した、日本で最初の本格的な仏教文化の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 白鳳文化 | 2. 飛鳥文化 | 3. 国風文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 7世紀当時の朝鮮半島と日本の関係について述べた次の文のうち、内容が正しいものを一つ選びなさい。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 唐と結んだ百済が日本へ侵攻してきたため、日本は新羅と協力して白村江でこれを防ぎ、国内の律令体制を強化した。 | 2. 朝鮮半島の北部に位置する高句麗を救援するため、日本は新羅と結んで唐の軍勢を白村江で迎え撃ったが敗れた。 | 3. 朝鮮半島の南東部に位置する新羅からの要請に応じ、日本は加羅の地域を統治するために大軍を送ったが、元寇と呼ばれる事変で敗れた。 | 4. 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。 |
|--|--|---|--|
- 問10 天武天皇の時期に作成が開始された「庚午年籍」などの戸籍は、中央集権体制を築く上でどのような目的で作成されましたか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 仏教による国家の安定を目指し、全国の寺院と僧侶の数を管理するため | 2. 人民の居住地や氏姓を把握し、税の徴収や徴兵を確実に行うための基礎とするため | 3. 地方の豪族に対して土地の私有権を認め、その忠誠を確保するため | 4. 諸外国との交易を円滑にするため、都市部の商人層の構成を調査するため |
|-------------------------------------|--|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 日本の歴史上の出来事を整理した略年表において、古墳時代の大和政権による統一が進んだ後、平安時代の荘園の形成よりも前の時期に位置づけられる出来事として正しいものはどれですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 北条泰時によって武士の慣習をまとめた御成敗式目が定められた。 | 2. 平清盛が武士として初めて太政大臣の地位に就いた。 | 3. 天智天皇の死後の後継争いに勝利した天武天皇が即位した。 | 4. 鎖国の体制が固まり、長崎でのみオランダや中国との貿易が行われた。 |
|-----------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
- 問12 672年に起こった皇位継承をめぐる最大の内乱である壬申の乱において、大友皇子を破って即位し、天皇を中心とする強力な中央集権体制の基礎を築いた人物を答えなさい。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 持統天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）らが中心となって推進した、日本で最初の本格的な仏教文化を何というか。（2018年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 天平文化 | 2. 飛鳥文化 | 3. 国風文化 | 4. 弘仁・貞観文化 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問14 法隆寺の建築に見られる特徴や背景について説明したものとして、歴史的事実に基づき最も適切な記述を選んでください。（2024年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 平安時代の貴族たちが好んだ日本独自の様式である「寝殿造」を取り入れ、庭園との調和を重視している。 | 2. 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。 | 3. 鎌倉時代に武士の間で流行した禅宗の影響を受け、装飾を排した質実剛健な造りとなっている。 | 4. 室町時代の文化背景をもとに、現代の和風建築の原型となった「書院造」の様式で建てられている。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される	1世紀（紀元57年）に奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かったのが最も古く、次に3世紀（239年）に邪馬台国の卑弥呼が魏から金印を授かりました。その後、飛鳥時代の7世紀初めに聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣しており、この順番が歴史的事実に合致しています。
問2	答え 4 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること	蘇我氏のような特定の豪族が政治の実権を握る状況を打破し、土地や人民を国家（天皇）のものとする公地公民の制などを導入しようとしました。これは、当時の中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制の構築を目指したものです。
問3	答え 4 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。	法隆寺は聖徳太子によって建立されたと伝えられる奈良県斑鳩の寺院で、その西院伽藍は現存する世界最古の木造建築群として知られています。この時期の文化は「飛鳥文化」と呼ばれ、中国や朝鮮半島、さらにはその先の西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな仏教文化であることが特徴です。他の選択肢にある延暦寺は平安時代初期、平等院鳳凰堂は平安時代中期、中尊寺金色堂は平安時代末期の建築物であり、時代背景が異なります。
問4	答え 3 小野妹子	聖徳太子は、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣して大陸の優れた文化や政治制度を学ぼうとしました。607年には小野妹子が使節として送られ、隋の皇帝である煬帝に国書を届けました。これ以前の時代のように中国の皇帝に臣下として仕えるのではなく、主権国家として交流を図ろうとした重要な出来事です。
問5	答え 3 争いを避け、役人としての心得や仏教を重んじる精神を説くため	十七条の憲法の第一条には、豪族同士の争いを戒める「和をもって貴しとなす」という言葉が、第二条には仏教への信仰を促す「あつく三宝を敬え」という内容が記されています。これらは、勢力争いを続けていた豪族たちをまとめ上げ、天皇を支える役人としての自覚を持たせることを目的としていました。人材登用を目的とした「冠位十二階」や、土地・人民の公有化を目指した「公地公民」の考え方は区別して理解する必要があります。
問6	答え 1 憲法十七条	憲法十七条は、儒教や仏教の教えを基盤として作られた日本最古の成文法的な心得です。第一条の「和をもって貴しとなす」という言葉が有名ですが、記述にある通り「三宝（仏教の宝）」を敬うことや、天皇への忠誠を尽くすことが、役人が守るべき道徳として具体的に示されています。
問7	答え 3 水城	663年の白村江の戦いで、倭・百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に大敗したことを受け、当時の政権は日本への侵攻を強く警戒しました。その防衛策として、九州の政治・外交の拠点であった大宰府を保護するために、現在の福岡県太宰府市周辺に「水城」と呼ばれる全長約1.2kmにも及ぶ大規模な土壁と堀を築きました。あわせて、北九州の沿岸には「防人」と呼ばれる兵士を配置し、警戒を強めました。
問8	答え 2 飛鳥文化	この時期、朝鮮半島や中国大陸から伝来した仏教が政治の場でも重んじられるようになりました。聖徳太子（厩戸王）や蘇我馬子らが中心となり、法隆寺や飛鳥寺といった寺院が建立されたことが特徴です。これが日本最初の仏教文化となりました。
問9	答え 4 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。	当時の朝鮮半島では、唐と結んだ新羅が勢力を伸ばしており、660年に南西部の百済を滅ぼしました。日本は百済の復興を支援するために戦いましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、朝鮮半島からの撤退を余儀なくされました。この国際的な危機感から、日本では天智天皇を中心に中央集権的な国家づくりが加速しました。
問10	答え 2 人民の居住地や氏姓を把握し、税の徴収や徴兵を確実にするための基礎とするため	中央集権国家の確立には、国家が直接人民を支配し、労働力や税を徴収する仕組みが不可欠でした。戸籍（庚午年籍）を作成して全国規模で人民を登録することで、公平かつ確実な徴税や徴兵を可能にし、天皇による統治基盤を強化する狙いがありました。
問11	答え 3 天智天皇の死後の後継争いに勝利した天武天皇が即位した。	日本の歴史の大きな流れにおいて、飛鳥時代は古墳時代と奈良・平安時代の間に位置します。この時期に起きた重要な出来事が壬申の乱であり、その結果としての天武天皇の即位です。略年表の順序をたどると、古墳時代の統一、飛鳥時代の天武天皇即位、平安時代の荘園形成や平清盛の台頭という流れになります。平清盛や御成敗式目、鎖国などはそれよりも後の時代の出来事です。
問12	答え 4 天武天皇	天智天皇の死後、その弟である大海人皇子が、天皇の子である大友皇子を武力で倒した出来事を壬申の乱と呼びます。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、有力豪族を抑えて天皇に権力を集中させる中央集権的な国家体制へと大きく転換させました。
問13	答え 2 飛鳥文化	百済などの渡来人を通じて伝えられた仏教を基盤とし、法隆寺に代表される寺院建築や仏像制作が盛んになった時期の文化を指す。これは日本における仏教文化の原点であり、大陸や朝鮮半島の技術が色濃く反映されている。
問14	答え 2 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。	法隆寺が建立された飛鳥時代は、仏教の伝来とともに、中国（南北朝時代や隋）や朝鮮半島の百済などの技術が積極的に導入された時期です。法隆寺の柱に見られる「エンタシス（中央のふくらみ）」などの特徴は、遠くギリシャの神殿建築の影響がシルクロードを経て伝わったものと言われており、当時の国際色豊かな文化背景を示しています。寝殿造や書院造は、より後世の時代に成立した建築様式です。